



ここがふるさと……



国際交流研修センター



次代を担う子供たち

■プロフィール

昭和22年9月20日生まれ

家族／父・母・妻・長女(短大2)・長男(高2)・二男(高1)

学歴

- 守谷町高野小学校卒業 ○守谷中学校卒業
- 県立水海道一高卒業
- 明治学院大学卒業——大学在中に1年間、欧州、アメリカ中近東など諸外国を一人旅

経歴

- 高野小学校PTA会長 ○愛宕中学校PTA会長
- 昭和47年、タクシー会社設立 ○守谷町商工会青年部長
- 日本青年会議所関東地区褒賞委員長
- 第1回守谷町青少年海外派遣団団長として渡米

現職

- 水海道一高PTA会長 ○守谷町国際交流協会副会長
- 小川交通(株)代表取締役 ○守谷町議会当選1回
- ボーイスカウト守谷第1団副団委員長

現委員

- 建設委員会委員 ○議会運営委員会委員
- 公共下水道運営審議会委員 ○社会教育委員会副議長
- 常磐新線建設促進まちづくり対策特別委員会委員



いっ せい  
**小川一成**

●励ます会入会のおすすめ

守谷に生まれ守谷で育ち、世界を見て歩いて来た一人の青年が、いま、21世紀の守谷のために走りをはじめました。

21世紀に備えたまちづくりをするべく重要な時期であればこそ、小川一成君のような実行力と親しみやすさを兼ね備えた若き政治ランナーが必要です。

私たち守谷町民のために、いま、あなたの熱きご支援を必要としています。ご入会を心からお願ひ申し上げます。 励ます会一同

●「小川一成励ます会」規約

- 名 称●「小川一成励ます会」と称します。
- 目 的●この会は、小川一成の政治活動を支援し同志と共に明るく、住みよい守谷町をつくるため努力し、その目的達成のため、講演会・研究会などの事業を行います。
- 組 織●この会は目的に賛同する者を会員として組織します。
- 役 員●この会には会長1名、役員若干名をおきます。
- 事務所●この会の事務所は守谷町内におきます。
- 運 営●この会の運営は規約により行い、規約にない事項は役員会で決めます。
- 経 費●この会の経費は寄付金その他の収入をもってあてます。

いっ せい  
**小川一成**

●励ます会事務所●——〒302-01北相馬郡守谷町甲3449 電話 0297 48-4111



好きです 守谷。

いっ せい  
**小川一成**



人と自然にやさしいまちづくり

# 住みよいまちから 住みたいまちへ ここがふるさと



いよいよ常磐新線が本格的に始動します。それに伴い守谷のまちづくりも新しい局面を迎えることとなります。言い換えれば、かつてのまちづくりではとうてい成し得ない未知への挑戦ともいえます。あらゆる可能性を模索し、英知の限りを尽くしてまちづくりに取り組むことが必要です。一度過ちをしてしまえば、自然も人の心もなかなか元には戻りません。自然の形を変え、自然に報復されてからでは遅すぎます。その意味からも今後のまちづくりの原点は“どこを開発するかではなくどこを残すか”そ

して“どうしたら人口10万人以内に抑えることができるのか”を今から考えておかなければなりません。

都心から38km圏の守谷町が常磐新線と高速道路の地の利を得て、交通網の充実が図られたときには、人口10万人にとどまらず15万、20万人とふくれあがることは確実です。

しかし、その人口を抱えては自然と調和のとれた快適な生活は望めません。今から、そうしたことを想定し、きちんと対応できる柔軟性が必要なのです。10万人都市が現実化してからでは遅すぎます。

私は今後も町民の皆様と共に“人と自然にやさしい守谷のまちづくり”をめざして頑張ります。ご支援の程をよろしくお願い致します。

## 好 | き | で | す | 守 | 谷。

### 守谷町は可能性にあふれたまち



私たちの住む守谷町は、決して大きな町ではありませんが、計画的な人口導入、それにふさわしい都市としての基盤整備、さらに自然との調和を第一に考えた、水と緑の豊かなまちづくりをめざしています。近年、町民の皆様の行政ニーズは益々多様化・高度化する一方です。その一つに『都市型の生活を営みながら、ふるさと(あるいは第2のふるさと)としての“ふるさとまちづくり”』ともいべき欲求が、町民の皆様様の心の基調にあるのではないのでしょうか。これからのまちづくりは、従来のパターンでは何一つあてはまらないでしょう。そのためにも、将来を見据えた斬新なビジョンづくりが必要で、そして、『いま何をしなければいけないのか』を私たちのまちづくりの基本に置かなければならないと思います。

守谷町はまだまだ可能性にあふれた町です。次代を担う子供たちに堂々とバトンタッチできるまちづくりを進めることが、私たちの使命だと思っています。



### 議会における主な提言

- 常磐新線の早期着工と周辺住民への配慮を
- 新庁舎周辺整備と跡地の有効活用を図れ
- 工業団地の整備と財政基盤の確立を
- 常総運動公園における総合体育館と温水プールの早期着工を
- 旧来の町名を用いた住居表示を
- 緑の保存樹木と保存樹林制度を導入せよ
- 国際化に向けて姉妹都市の締結を
- 火葬場建設計画は地元住民と充分な討議を
- 北園松並木の保存と育成を
- 住民の立場にたった行政サービスを
- 水と緑のまちづくり基金条例化を図れ
- 第3次振興計画の策定にあたっては、住民の参加ができる組織づくりを
- 緑の現況調査をし、巨樹老木の保存を図れ
- 愛宕中学校の図書室を早期に建設せよ
- 人材育成の一環として中高生の海外研修を
- 老人福祉とデイサービスの充実を
- みずき野地区に消防署を早期着工せよ
- 図書館の早期建設を
- 心身障害者福祉センターの早期着工を
- アイデアモーター制度の活用を図れ

いつ せい  
小川一成